

# コーチ研修会を行ないました！

《日時》 平成26年2月2日(日)午後12:15~13:45  
《講義テーマ》 子どもたちと向き合う際の「心構え」を伝える  
《対象者》 医大生コーチ(チーム担当者及びジュニア育成に興味のある者)  
《参加者》 有谷、天野、松井、音成、田村、棒葉、峯川、以上7名

子供たちのサポート体制を充実させるために、新しく仲間に加わった医大生コーチたちの「コーチ研修会」を行いましたので報告します。

研修内容は、「ドリル方法」や「球出し方法」、「子供たちのローテーション方法」といった「レッスン技術」ではなく、「子どもたちと向き合う上での心構え」について伝えました。

「テニス向上のためのドリルにはどんな種類があるのか」、「より効率良く技術を習得する球出し方法とは」等は、もちろんレッスンにおける重要な部分です。しかし、これらのコーチング技術はそのコーチの心構えひとつで、より深みのあるものへと変化したり、逆にただこなすだけのものになったりもします。また、コーチの心構え一つで、子供たちへの言葉掛けから、立ち振る舞い等が変わり、子供たちへ与える印象がずいぶん違うものにもなります。ですから、コーチング技術の研修よりもまずやるべきは、「心」や「子どもと向き合う姿勢」について研修しました。研修には、先日希望されたみなさんにお配りした冊子「NWTC チーム ~すべてはトップアスリート育成のために~」を使用しました。



医大生たちの研修態度は熱心で素直で、大変素晴らしかったです。さすが、医大受験という狭き門をくぐり抜いてきた方たちだなと感心しました。ただし、知識を得ていることと、それを実行することとは、勝手が違います。私もしっかりと彼らを育てていきますが、親御さんの皆様もどうか温かい眼差しで見守ってあげてください。

とっても真面目な医大生たちを、どうぞよろしくお願いいたします。

平成26年2月4日(火)

後藤

研修終了後、医大生にアンケートをとりました。今回の研修が、彼らの心にどのように届いたのか、ご覧下さい。

有谷コーチ（現在 Jr.チーム担当）

「本日は、わざわざ私たちのために研修会を行っていただき、ありがとうございました。今回の内容は、驚く内容、学ぶ内容が多く、コーチを行っていく上だけでなく、テニス選手として自分自身を向上させる上で大切なことを多く教えていただき、とても有意義な時間でした。子供たちからだけでなく、その家族の思いも非常に大きいことを知り、私もそれに答えられるように、より一層頑張っていこうと思いました。また、テニスの



心・技・体・戦術といったコート上でのことだけでなく、負けた時の態度や、周囲への感謝の気持ちを忘れない、といった試合以外の気持ちが、試合にもつながるし、日常生活での人間としての大きさに深く関与するということを改めて痛感し、これから意識して生活していこうと思いました。本当にありがとうございました。」

音成コーチ（現在 Jr.チーム担当）

「本日はお忙しい中、ありがとうございました。

コーチたちが真剣に子供たちを見ているのは、普段見ているのでよくわかっていましたが、その背景にはいろいろな心理学的根拠や経験など、たくさんの知識が詰まっています、とても納得しました。選手育成コースをやる上で不安なのは、自分の技術があまり高くないため、私と打ち合うことで子供たちのモチベーションを下げてしまったりしないかということです。しかし、正直言いますと「私も頑張らなきゃ」というモチベーションになっています。子供たちの自分を誤魔化さないで一生懸命やっている姿がいつも印象的です。それを見て私も、自分のテニスも勉強もですが、自信のないところを誤魔化さないで向き合って克服しようとしています。これからもまだまだ未熟ですが、よろしくをお願いします。」

松井コーチ（現在 Jr.チーム担当）

「子供たちとどう接していけば良いかを具体的に知ることができて良かったです。純粋な子供たちには、日本の従来の威圧的で強制的なコーチングスタイルよりも、むしろ、コーチと協力して子供が抱える壁や疑問点について取り組んでいく方法の方が、結果として子供たちが主体性を持ってテニスに取り組めるということがはっきり理解できました。今後ともよろしくお願ひ致します。」

天野コーチ（現在一般スクール担当）

「今日はお話をさせていただき、ありがとうございました。私は学年が上になり、判断に迫られる時が多くなり、後輩のためにどう考えて行動して接して行けば良いのかの参考となりました。また、個人として「結果 = 成果」や「2種類のモチベーション（外因性・内因性）」など、考えさせられる部分も多く、大変勉強になりました。今後、少しでも生徒さんの方々と良い時間が過ごせるように頑張っていくので、よろしくお願ひします。」



田村君（Jr.チーム担当希望）

「ニューウィンブルドンのジュニアの運営方針が、本日の集まりでよくわかりました。自分が中・高と経験してきた、コーチや上級生から厳しく指導されるような方針とはまったく異なり、生徒がモチベーションを自分から持つようにするのはとても素晴らしいことだと思うので、理念を貫いて頑張りたいと思います。本日はありがとうございました。」

棒葉君（Jr.チーム担当希望）

「今までは、テニスコーチと聞くと正直言って怖いイメージがありました。中学の時の部活の先生も自分自身よく怒られましたし、高校の友達が通っていたテニスクラブの話聞いても、かなり厳しい人がコーチには多いんだなと思っていました。しかし、今日の講義を聞いてニューウィンブルドンには、そのような怖い指導をされるコーチの方々は少ないんだという印象を受けました。また、理想とする指導方法がかなり深

く考えられていて、自分の中の「コーチング・イメージ」が少し変わった気がします。しかし、その中でも、理想と現実でのギャップに葛藤されていたりしているところが見受けられ、子供たちと一緒に向上していこうという姿勢を伺うことができ、それに対してもすごく良いことだし、自分と比較してみても参考にしたいことが多々あったので、自分でも実践してみようと思いました。普段、大学では聞けないような話で、とても興味深く聞かせていただきました。ありがとうございました。機会がありましたら、ぜひよろしくお願い致します。」

峯川さん（Jr.チーム担当希望）

「私はアルバイトに来たことがなかったので、どのようにレッスンが進められているかよく知らなかったのですが、今回のお話を聞いて、少しイメージがわきました。ニューウインブルドンの目指す教育理念というものも共感できました。また、自分もそのようなスポーツマンシップを持っていたいと感じました。今回は、ジュニア選手育成という観点からお話していただきましたが、自分がテニスを上達させる、よいスポーツマンになるための貴重な話として、私にとっては聞くことができ、とても勉強になりました。テニスをやっていく上で生じる様々な壁というものに対する考え方も、以前とは少し変わったと思います。これからのテニスの活動に活かしていきたいです。ありがとうございました。」

